

●季節は徐々に夏に向かって・・・

雨の恵みを受けて、草木もしっかり水分補給完了。晴れの日も増えてきますので、園内散策と行きましょう！

○ハスの姿も移り行き・・・

●7月が最盛期の大賀ハス。8月上旬までは花を見ることができますが、徐々に花よりも花托が目立つようになってきます。

4日目に花弁が散った後、残った中心の花托が大きくなって実をつけ、その後枯れていきます。ちなみにハスの由来は花托（果托）が蜂の巣に似ているため、ハチスが転じてハスになったという説もあります。



①大賀ハス



②ミソハギ



○強いキレイ長持ちのミソハギ

●ハス池の隣に群生する②ミソハギ。鮮やかな紫色が目を引きます。名前の由来は、襷（たすき）に使われて、ハギに似ていることから。病害虫に強く湿地を好むため、園内の水はけが悪い場所でも育てやすい植物です。花期が長いのもうれしいですね。



②ミソハギ

○野草もいろいろ探してみてください



④マコモ

●水辺に群生するイネ科の「マコモ」。ヨシなどと同様に根を水底の土壌に貼る抽水植物です。お盆飾りの牛馬やゴザの材料にもマコモが使われます。

●藪の中に生え、ミョウガに似た葉が特徴の「ヤブミョウガ」は、分類的には異なるものの、味や香りも似ているため、昔は代用品として食されたようです。

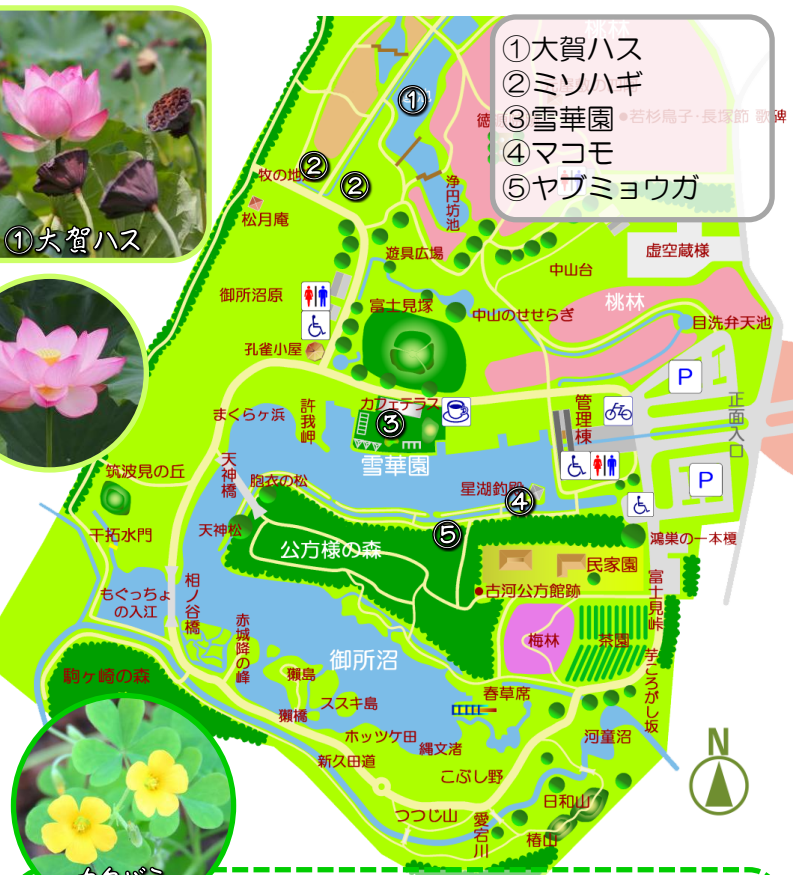


⑤ヤブミョウガ



ネジバナ

●日当たりのよい草原に咲くネジバナ。茎を中心にらせん状に花が咲きます。右巻きと左巻きがあるので、探してみてください。



カタバミ

●クローバーではありません「カタバミ」の話

・芝生でよく見かけるカタバミは、クローバー（シロツメクサ）と良く間違われますが、葉がハート型で花は黄色く、実際は全く異なります。またカタバミはシュウ酸を含むため、葉で10円玉をこするとピカピカになります。見かけたら試しに磨いてみると面白いですよ。

○キョウチクトウとノウゼンカズラ



キョウチクトウ



ノウゼンカズラ

●ジェラテリア南側の庭園「③雪華園」をのぞいてみてください。桃の花、竹の葉に似ていることからその名が付いた「キョウチクトウ」がキレイです。その見た目とは裏腹に、花、茎、葉、根、果実のすべてが有毒なんです。その他にもつる性低木の「ノウゼンカズラ」がオレンジ色の花をたくさん咲かせます。花の形がトランペットに似ていることから、英語ではトランペットフラワーなどと呼ばれるそうですよ。

●夏に向かって動植物は生命力にあふれています。公園散策でその自然の力を感みましょう！